

「事業名: 楡葉町を起点とした「復興知」の展開」 2019年度補助事業の実績・成果

東京大学 連携市町村: 双葉郡楡葉町

連携市町村との協定締結日: 平成26年3月1日

現地拠点: 双葉郡楡葉町下小塙麦入31 建物名 楡葉町まなび館2階 (拠点設置日: 2018年7月27日)

事業のポイント

楡葉町に設置した東京大学アイソトープ総合センターならはサテライトを拠点に、以下の事業を実施する。

- ①イノベーション人材の裾野拡大を目指した教育プログラム事業
- ②イノベーション・コースト構想の実現に向けた研究事業

今年度の活動実績

●教育プログラム

1. 東京大学 夏の科学教室 in Narahaを開催した(全6回、7月23日から8月21日)(写真1)。
2. 東京大学市民講演会を開催した(全3回、7月30日、10月5日、10月23日)。

●研究プログラムと復興推進プログラム

1. ならはサテライトでロボット遠隔操作技術の開発と実証実験を実施(図1)
2. 放射線影響と放射線利用研究を推進した。研究成果を学会等で発表した。
3. 地元企業と共同研究を実施した。
4. 独自の技術を用いた、廃炉のための基礎研究を実施した。

今年度の成果

10月10日に開催したワークショップでは、楡葉町関係者、関係省庁、企業関係者、大学関係者が一堂に会し、フラクナ意見交換とアイデア提案を行うことで、今後の事業推進に対する貴重かつ豊富な事業計画案を立案することができた。また、このワークショップに復興知事業を実施する研究者を招待し、事業内容を紹介してもらった。このような取組を通じて、復興知事業者間の交流と情報共有を行い、本事業を他の自治体に展開する足がかりを構築することができた。

研究と復興推進では、独自の研究を推進し、かつ、地元企業との共同研究体制を構築することができた。現在、地元企業とも共同研究を実施し、密接な関係を構築した。



写真1: 夏の科学教室



図1: ロボット技術の開発